

内外部上塗り用合成樹脂調合ペイント

# ペンフォルテフォースター

艶あり・半艶・3分艶・艶消

ホルムアルデヒド放射等級
F☆☆☆☆

防火材料認定	
認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QN-9816	塗装塗料/準不燃材料
RN-9364	塗装/難燃材料



## 特長

### 鉛クロムフリー

鉛・クロムなど有害重金属を含まない環境配慮形塗料です。

### 耐候性

外部適性があります。

### 隠ぺい性

隠ぺい性が良好です。

### 艶

艶あり、半艶、3分艶、艶消が選べます。

### 作業性

塗料配りが良く、はけ・ローラー塗装の作業性が優れています。

### 仕上がり

鮮映性に優れ、なめらかで、きめ細かく、肉持ち感があります。

### ホルムアルデヒド放射等級

日本塗料工業会登録のF☆☆☆☆です。

### 防火認定材料

## 性状・試験成績

試験項目	社内規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間 (表面乾燥性)	16時間以内	8時間
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい性 (白及び淡彩)	90以上	合格
促進黄色度 (白について)	0.20以下	合格
塗り重ね適合性	塗り重ねに支障があってはならない。	合格
加熱残分 (%)	65以上	68
促進耐候性	膨れ、はがれ及び割れの等級は0であり、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化の等級が1以下とする。	合格
屋外暴露耐候性	1年間の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化の等級が4以下とする。	合格
ホルムアルデヒド放射等級	日本塗料工業会 自主管理登録F☆☆☆☆	登録

試験結果の上記数値は、標準の値であり、若干の変動はあります。

## 用途 鉄扉・鋼製建具・手摺り・一般鉄部・木部等の建物付帯設備の美装・保護

- 注1 コンクリート・モルタル等のアルカリ性素地には塗装を避けてください。
- 注2 結露の著しい箇所では、膨れ等の不具合を発生することがあります。当該塗料での塗装は避けてください。
- 注3 油性塗料の特性として、屋内の暗所においては塗装後経時で塗膜が黄変することがあります。
- 注4 変色が目立ちやすい淡彩色を採用する場合は仕様変更を行っていただき、水性スペースエースをご使用ください。
- 注5 控見本板をお持ちの場合、保管状況によっては暗所焼けなど変色することがあります。事前に色の確認をお願いします。

## 商品構成

品名	容量	艶	色相	希釈用シンナー
ペンフォルテフォースター	15kg・3kg	艶あり、半艶、3分艶、艶消	白調色	塗料用シンナーA

標準塗装仕様例

■鉄鋼面の場合

工程		塗料名 (希釈剤)	膜厚 ( $\mu\text{m}/\text{回}$ )	希釈率 (%)	標準使用量* ( $\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$ )	塗装間隔 ( $20^\circ\text{C}$ )	塗装方法
工場	素地ごしらえ	汚れ、付着物をスクレーパー、ワイヤブラシ等で除去。溶剤拭きにより油類を除去。 ディスクサンダー、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙 P120 ~ 220 等で錆落としを行う。					
	錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗り (1回目)	超速乾リンサンデラストHB** (塗料用シンナーA)	35	5~10	0.14	16時間 ~6ヶ月
研磨紙すり		研磨紙 P120 ~ 220 で研磨する。					
現地	錆止め塗料塗り (2回目)	超速乾リンサンデラストHB** (塗料用シンナーA)	35	5~10	0.14	16時間 ~10日	はけ ローラー
	中塗り	ペンフォルテフォースター (塗料用シンナーA)	25	5~10	0.11	16時間 ~7日	はけ ローラー
	上塗り	ペンフォルテフォースター (塗料用シンナーA)	25	5~10	0.11	—	はけ ローラー

\* 使用量は被塗物の形状や、塗装方法によって増減することがあります。上記値は標準的な数値を記載しています。  
\*\* 超速乾リンサンデラストHBは、JIS K 5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント 1 種品です。  
錆止め塗料塗りでは、超速乾リンサンデラストHBのほかに、速乾さび止めK-21、クイックエポプライマーIIなども使用できます。

■木部の場合

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量* ( $\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$ )	塗装間隔 ( $20^\circ\text{C}$ )	塗装方法
素地ごしらえ	木部を傷つけないように汚れや付着物を除去し、油類は、溶剤等でふき取る。 やには、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。 かんな目、逆目、けば等を研磨紙 P120 ~ 220 で研磨する。 SP ペイント下塗 白で節及びその周囲にはけ塗りを行う。 合成エマルジョンパテ(耐水形)で割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。 穴埋め乾燥後、研磨紙 P120 ~ 220 で全面を平らに研磨する。				
下塗り	SPペイント下塗 白** (塗料用シンナーA)	5~10	0.12	1日~7日	はけ ローラー
研磨紙すり	研磨紙 P120 ~ 220 で塗膜表面を軽く研磨する。				
中塗り	ペンフォルテフォースター (塗料用シンナーA)	5~10	0.11	16時間~7日	はけ ローラー
上塗り	ペンフォルテフォースター (塗料用シンナーA)	5~10	0.11	—	はけ ローラー

\* 使用量は被塗物の形状や、塗装方法によって増減することがあります。上記値は標準的な数値を記載しています。  
\*\* 下塗りは、素地によくなじませるように塗り、木口部分は、特に丁寧に塗ってください。SP ペイント下塗 白は JASS18 M-304 合成樹脂調合ペイントです(日本建築学会材料規格)。

■取り扱いに関する一般的注意事項

■調合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
2. 使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
3. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
4. 希釈シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は規定量内でご使用ください。

■塗装

1. 気温  $5^\circ\text{C}$  以下、湿度  $85\%$  RH 以上のときは塗装禁止です。低温時は乾燥遅延となり、高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短期で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 被塗物の表面温度が  $50^\circ\text{C}$  以上の場合は塗装を避けてください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ素地には、塗装を避けてください。
6. 油性塗料の特性として、屋内の暗所においては塗装後経時で黄変することがあります。変色が目立ちやすい淡彩色を採用する場合は、水性塗料(水性スペースエース等)を適用してください。
7. 控見本をお持ちの場合、保管状況によっては変色することがあります。事前に色の確認をお願いします。
8. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
9. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
10. 溶剤系塗料のため、室内での塗装時および取り扱い時には換気を十分に行い、火気厳禁としてください。また、塗装後養生時は空気の流通を確保してください。

11. 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。

■緊急時の対応

1. 目に入った場合には、多量の水で洗眼し、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、安静にし、必要に応じてできるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は砂などを散布した後処理するか、布で拭き取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■廃棄

1. 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
2. 使用済みの塗料缶や塗料は付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所への廃棄はしないでください。)

■保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を厳守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。  
※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。  
※ご不明な点につきましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

- |                                     |                                     |   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 | 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315  | 四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108  |
| 東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813  | 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 | 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777  |
| 東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553  | 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  |   |
| 静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091  | 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821  | <a href="https://www.shintopaint.co.jp/">https://www.shintopaint.co.jp/</a> |

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。